

最適な WAX カラムの選び方

Agilent J&W WAX GC カラムは、感度が高く、優れた不活性度を実現します。Agilent J&W WAX カラムはさまざまな種類があるため、お客様のニーズに最適なカラムの選択が難しい場合があります。

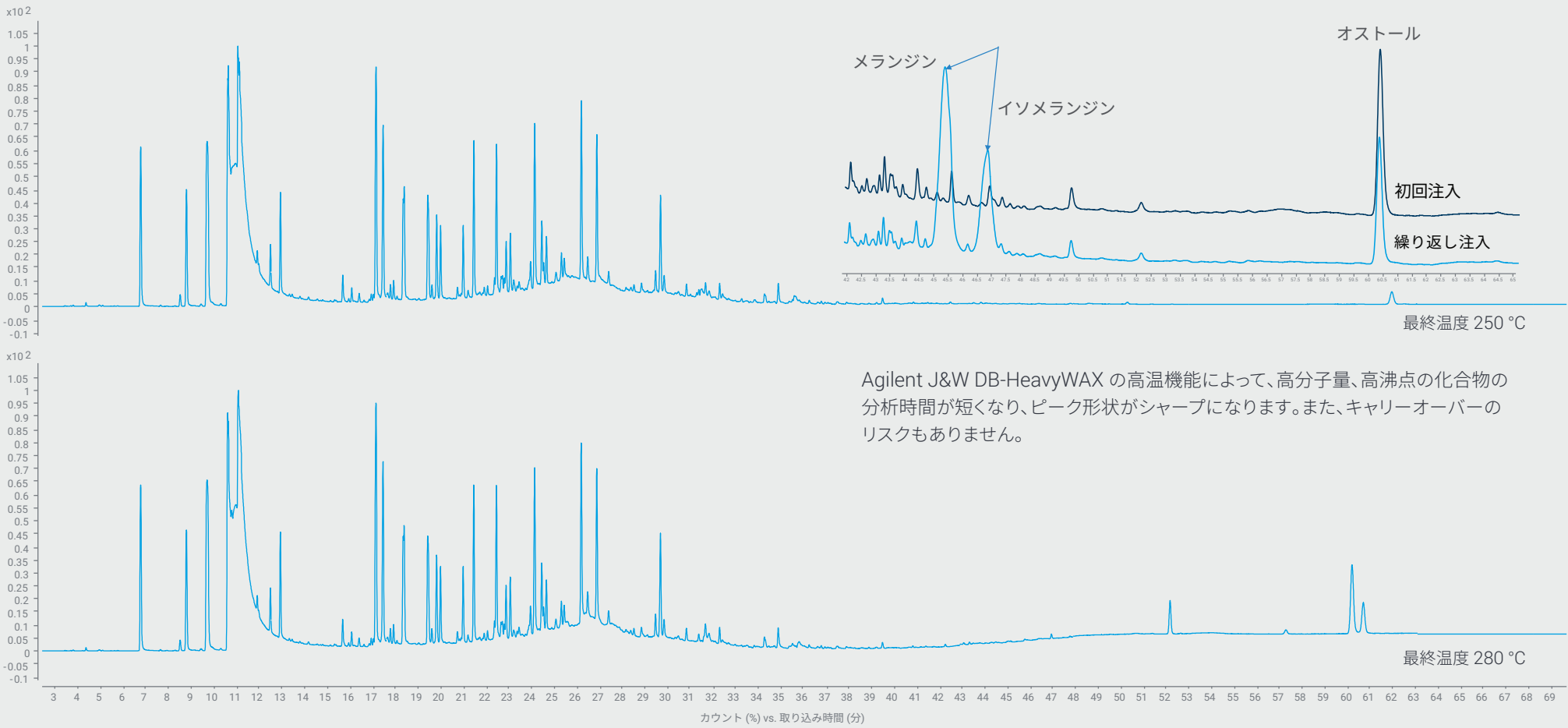
このポスターは、アプリケーションや使用する検出器の種類といった要素に基づき、最適な WAX カラムを選択して優れた分析結果を実現するのに役立ちます。



高分子量成分に最適な DB-HeavyWAX

- 高い最高温度上限: 等温分析時 280 °C、昇温分析時 290 °C
- 分析時間の短縮

低温圧搾したピンクグレープフルーツエッセンシャルオイルの分析



本文書に記載の情報は、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

© Agilent Technologies, Inc. 2018
Printed in Japan, June 29, 2018
5991-9415JAP

極性化合物に最適な DB-WAX ウルトライナート

- ピーク形状を損なわずに、温度上限まで温度サイクルを繰り返すことが可能
- DB-WAX と同等の選択性

1. 2-ノナン

2. デカール

3. プロピオン酸

4. エチレンジクロール

5. ヘプタデカン

6. アニリン

7. ドデカン酸メチル

8. シクロロフェノール

9. トリデカノール

10. ノナデカン

11. 2-エチルヘキサン酸

12. エチルマルトール
- インジェクタ: 250 °C, スプリット比 1:75

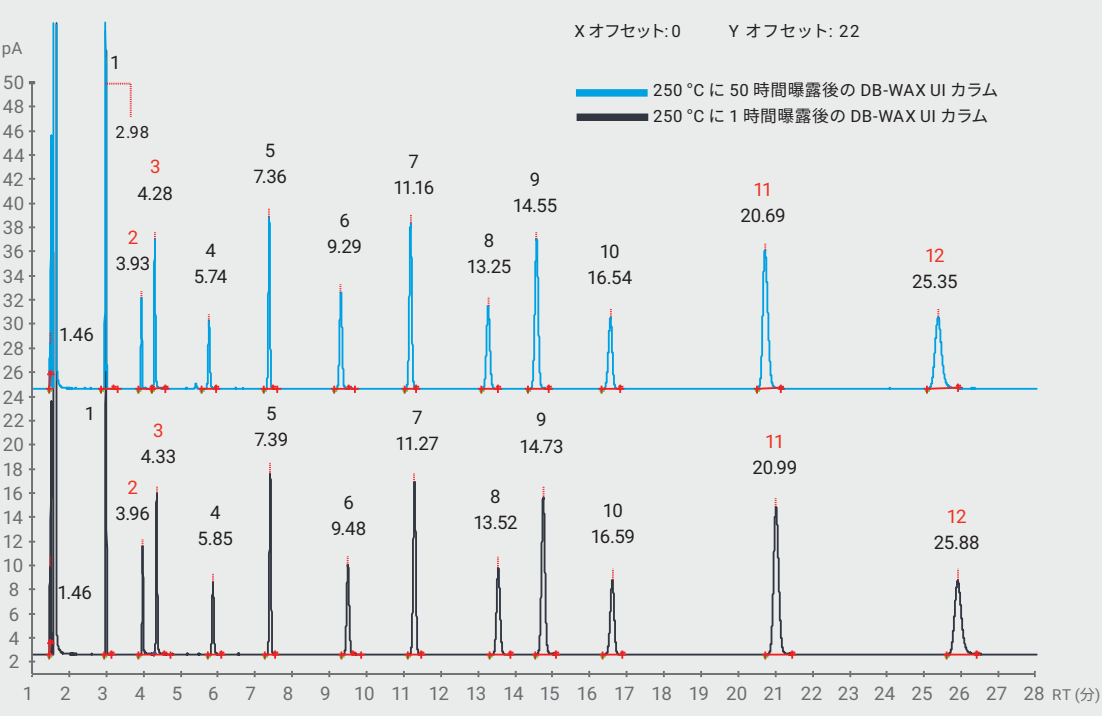
注入量: 1 µL

流量: 1.1 mL/min, H2 ガス

オーブンプログラム: 130 °C 定温

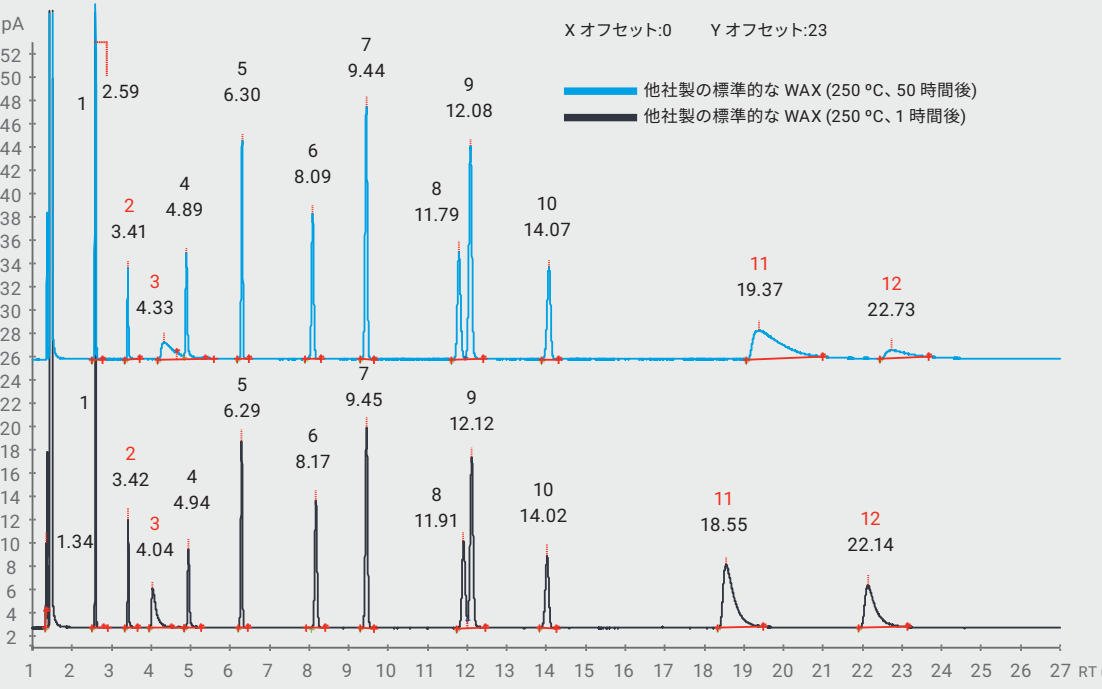
検出器: FID, @ 260 °C

Agilent DB-WAX UI カラムの不活性度



DB-WAX UI GC カラムは、上限温度範囲に 50 時間曝露した後も、きわめて高い不活性度と安定性を示し、ピークシフトが最小限に抑えられています。

他社製 WAX カラムの不活性度



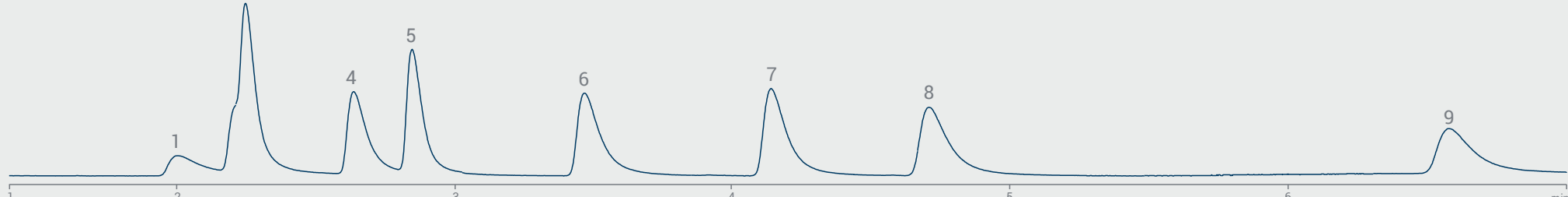
FAME および遊離脂肪酸に最適な DB-FATWAX ウルトライナート

- シングルカラム分析
- 溶媒での洗浄と水性注入が可能

優れた不活性度、独自の選択性、温度堅牢性が FAME と非誘導体化遊離脂肪酸の分離に最適

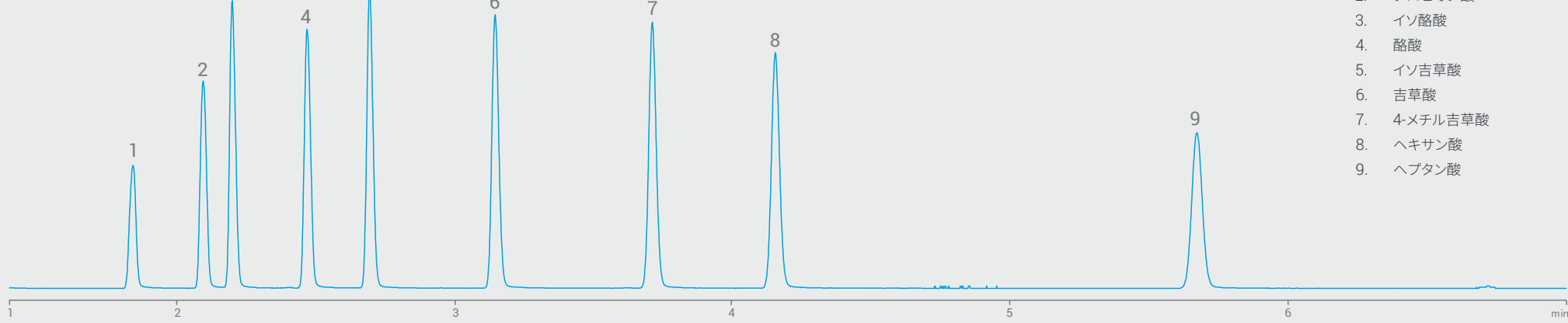
他社製の WAX カラム

30 m x 0.25 mm, 0.25 µm



Agilent DB-FATWAX ウルトライナート

30 m x 0.25 mm, 0.25 µm



1. 酢酸

2. プロピオン酸

3. イソ辛酸

4. 酪酸

5. イソ吉草酸

6. 吉草酸

7. 4-メチル吉草酸

8. ヘキサン酸

9. ヘプタン酸